

ミルク1万年の会 2024年交流会 ～私の考える「酪農とミルクの未来」～

2024年3月8日
ミルク一万年の会

ミルク1万年の会では、ミルクや酪農乳業について様々な立場の方から話題を提供していただき、一緒に学び考え交流を深める集いを、次の通り開催します。今回は、酪農を取り巻く環境が大変厳しい中で、地域を活かし地域と共に生きる酪農家さんや牛乳屋さんのお話を中心にお聞きます。是非ご参加ください。

1 日時:2024年5月25日(土) 開場13時

2 場所:大妻女子大学 千代田キャンパス
E棟 E454 講義室
(東京都千代田区三番町12番地)

3 テーマ:私の考える「酪農とミルクの未来」

4 定員 70名(予定)

5 スケジュール

注:内容が少し変更になる場合がありますのでご了承ください

第一部 講演とディスカッション:13時30分～17時30分

(1) 酪農家 藤田春恵さん(岩手県西和賀町)
「小さな山村の新しいエコ・フードシステムづくり」(仮)

藤田さんは、山々に囲まれた豪雪地帯の西和賀町の牧場で、地域の自然を生かした飼い方でブラウンスイスを飼い、ミルクを搾りながら、牛肉の加工や販売をしています。ブラウンスイスの肉や加工品は地元の学校給食や地域のレストランで利用されています。



(2) 酪農家 小笠原正秀さん(愛知県西尾市)
「地域産業と共に目指す循環型農業への道筋」(仮)

小笠原さんは、三河湾に近い牧場で400頭の牛を飼っています。酪農を通して地域に貢献したいという思いを実現するために、地域の農業や食品企業と連携した資源循環型酪農、乳製品加工による地産地消の取り組み、酪農教育ファーム活動を行っています。



駅からの所要時間

- JR総武線「市ヶ谷駅」下車 徒歩10分
- 都営新宿線、東京メトロ有楽町線・南北線
「市ヶ谷駅」下車(A3出口) 徒歩7分
- 東京メトロ半蔵門線「半蔵門駅」下車(5番出口) 徒歩5分
- 東京メトロ東西線「九段下駅」下車(2番出口) 徒歩12分



- (3) 研究者 上田隆穂さん
(北海道大学大学院 農学研究院 客員教授(予定)
地域創生システムデザイン担当)
「マーケティング研究を通して考える
新しいミルクの価値づくり」(仮)

上田先生は、著名な牛乳製品に関するマーケティング研究者の一人です。また小売店の価格戦略に関する研究では日本の第一人者です。なお近年は、地域産業のブランディングについても意欲的な研究を行われ、実際に多くの地域おこしに貢献されています。



- (4) 販売店 武蔵野デリー・木村充慶さん (東京都武蔵野市)
「古い牛乳屋の新しいビジネスモデル」(仮)

木村さんは、約 100 年前から続く牛乳屋さんの 3 代目。現在は、全国の牧場ミルクを提供する武蔵野デリーというミルクスタンドを運営されています。西東京の牧場牛乳の製造販売も計画中。なお国内外の酪農現場を取材されているジャーナリストでもあります。



- (5) 世話人 金谷匡高さん
(法政大学江戸東京研究センター客員研究員)
ブラミルク@ロンドン(2026 年予定)など、今後の「ミルク1万年の会」の活動計画について

金谷先生は、近代都市史、地域エコデザインの研究者です。現在、近代における都市の酪農について、ロンドンと東京との比較研究に着手されています。今回は、2026 年に計画しているブラミルク@ロンドンなどについて募集に先行して紹介します。



第二部 交流パーティ: 18 時 00 分～20 時 00 分 大妻女子大内 kotacafé(コタカフェ)
各牧場などで作られている牛乳やチーズ、肉加工品、さらにはワインなどの飲み物、チーズ、オー
ドブルを準備する予定。

6 参加費

ミルク 1 万年の会では、会場費や講師旅費、パーティなどの開催費用の全てを参加費で賄うことを基本にしています。ご理解よろしくお願ひします。

第一部「講演とディスカッション」 一般 4,000 円 学生 2,000 円

第二部「交流パーティ」 一般 4,000 円 学生 2,000 円

注: 事前に指定の口座にお振り込みください。(参加申し込み後にご連絡)

注: 参加取消料 ・開催日の 7 日前～2 日前のキャンセル: 参加費用の 50%

・開催日の前日～当日のキャンセル: 参加費用の 100%

7 申し込み

次の申し込みフォームより申し込みください。 [→こちら](#)

8 お問い合わせ

ミルク 1 万年の会 担当者: 前田 E-Mail: hirofumi.maeda@gmail.com

(以上)